

## 会社情報

### 会社概要 2019年6月30日現在

商号	ホシザキ株式会社 (HOSHIZAKI CORPORATION)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	1947年2月5日
上場	2008年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	80億21百万円
事業内容	製氷機、冷蔵庫、食器洗浄機をはじめとする 各種フードサービス機器の研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 13,081名 (単体) 1,182名
連結子会社	国内17社 海外34社(合計51社)

### 役員 2019年6月30日現在

取締役会長	坂本 精志	取締役	古川 義朗
代表取締役社長	小林 靖浩	取締役	水谷 正
常務取締役	本郷 正己	取締役	栗本 克裕
常務取締役	川井 秀樹	取締役	家田 康嗣
取締役	丸山 暁	取締役 常勤監査等委員	世古 義彦
取締役	小倉 大造	取締役 監査等委員	元松 茂
取締役	尾崎 司	取締役 監査等委員	柘植 里恵
取締役	落合 伸一		

### 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
	取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。

- ▶ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、  
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ▶ 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株主・投資家の皆さまへ

# ホシザキグループ 報告書

第74期 | 第2四半期累計期間  
(2019年1月1日～6月30日)



ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課  
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

証券コード：6465

## 厳しい経営環境の中、内部統制強化を軸に 成長復帰に向けた基盤作り



代表取締役社長  
小林 靖浩

### 存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

### 経営姿勢

- ▶ 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- ▶ 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- ▶ 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

良い製品は良い環境から

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、連結子会社であるホシザキ東海株式会社その他一部の連結子会社における不適切な取引事例及び内部統制上の不適切な事例に関し、第三者委員会の再発防止策の提言を踏まえ、内部統制上の重大な不備の改善策を織り込んだ総合的なコンプライアンス・内部統制強化策を策定し、今年5月29日付で公表いたしました。全ての強化策を網羅した6つの推進チームを編成し、しかるべき責任者の下、早期改善を目指して活動を進めております。現時点で全てのチームの活動は順調に進捗しており、検討、設計が完了した強化施策から順次実施へ移行しております。年内には全ての強化施策の検討、設計を完了させ、来期から実施できるよう、今後とも全力で取り組んでまいります。

### 当第2四半期累計期間の業績の総括

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済政策、金融政策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は一部に弱さが見られるものの緩やかに回復し、設備投資は増加いたしました。また、個人消費は持ち直しが続き、消費者物価は緩やかに上昇いたしました。

海外におきましては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では一部に弱さが見られるものの景気は緩やかに回復いたしました。一方で、中国及びアジアの新興国では景気は緩やかに減速いたしました。また、為替は緩やかな円高傾向で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは、国内では、主要販売先であるフードサービス産業等の人手不足による設備投資の抑制、連結子会社における不適切な取引事例に関する第三者委員会の調査対応による活動量の制約、7月上旬までの低温（冷夏）継続等がマイナス影響となりました。海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。

なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結売上高につきましては、1,496億31百万円（前年同期比0.2%減）、連結営業利益につきましては、前期に連結子会社で判明した不適切な取引事例に対する調査費用等を計上したことにより販売費及び一般管理費が増加し、186億31百万円（同13.1%減）となりました。また、連結経常利益につきましては、184億51百万円（同10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、128億円（同8.3%減）となりました。連結売上高、連結営業利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

### 下期以降の取り組み

通期（2019年12月期）の業績予想につきましては、連結売上高2,966億円（前期比1.3%増）、連結営業利益は345億円（同5.3%減）と、今年5月7日に公表した業績予想を据え置きとさせていただきます。国内では、7月中旬以降の猛暑、一部フードサービス産業における設備投資再開の兆し、営業・サービス活動の段階的な正常化をプラス効果として織り込みました。海外では米中を中心とした貿易戦争の激化、ブレグジット等欧州経済の不透明さは継続しているものの、東南アジア、インド等での好調な需要継続をプラス効果として織り込んでおります。

なお、当社は7月1日付で執行役員制度を導入、4名の執行役員を任命しております。今後業務執行機能の強化、取締役会が経営・監督機能に専念できる環境整備を行うとともに、経営に携わる人材登用の機会の拡大を目指してまいります。また、冒頭に記載の内部統制強化策を積極的に推進すると同時に、取締役会の機能強化等ガバナンス体制強化についても積極的に検討してまいります。さらに企業価値向上に向けて、収益性の高い既存市場の丁寧な深掘りに加えて、原価及び販売管理費等のコスト削減等に努めると同時に、株主還元等についても検討を継続してまいります。

株主の皆さまには、今後とも「フードサービス産業の世界No.1」の実現に向けた当社グループの挑戦にご期待いただき、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。

# コンプライアンス・内部統制強化策等について

当社の連結子会社であるホシザキ東海株式会社その他一部の連結子会社における不適切な取引事例及び内部統制上の不適切な事例に関し、第三者委員会の再発防止策の提言を踏まえ、内部統制の開示すべき重要な不備の是正方針及び改善策を策定いたしました。今後は当該強化策を徹底し、当社グループ一丸となって信頼の回復に努めてまいります。

以下にその概要をご紹介します。

## 1 グループ会社最適ガバナンス方法の確立

- 1 当社と国内販売会社間の最適ガバナンス体制の設計
- 2 地域統括機能の検討等海外グループ会社のガバナンス体制強化

## 2 内部統制項目の追加と将来に向けたIT化

- 1 不正事案の洗い出しと対応策の策定
- 2 対応策としてのIT統制の推進と内部統制に資する将来的IT基盤のための構想着手

## 3 グループリスク管理機能の確立

- 1 包括的なリスクマネジメント体制の構築
- 2 内部通報に対する対応強化のための専門家登用等体制整備

## 4 国内販売会社目標管理制度・人事制度の見直し

- 1 会社方針に関して上司・部下の相互理解を深めるための目標設定の適正化及び社内コミュニケーションの充実
- 2 管理能力に重きを置いた人事評価や昇格要件の策定と育成と不正防止を目的としたローテーション制度の確立

## 5 当社とグループ会社それぞれの管理機能最適化

- 1 グループ管理部の機能強化と国内販売会社内管理部の強化
- 2 海外グループ会社経理部門の機能適正化と経理能力の把握

## 6 コンプライアンス、内部統制強化に貢献する教育体系の整備

- 1 不正防止・内部統制や営業基本動作を含む包括的教育体系の見直し
- 2 全項目に関わる教育状況の把握と教育の実効性把握

### 執行役員制度の導入

2019年7月より、執行役員制度を導入いたしました。これにより、業務執行機能を強化し、取締役会が経営・監督機能に専念できる環境を整えることでコーポレート・ガバナンスの一層の充実を図るとともに、経営に携わる人材登用の機会の拡大により次世代経営層の育成を図ります。

# 五大陸をつなぐ世界No.1ブランドを目指して、国内外で積極的な取り組みを推し進めています。

## 国内

### システム食器洗浄機で働き方改革を支援

2019年8月より、洗浄機へのラックの搬送、洗浄、ワゴン収納までを自動で行う食器洗浄機「SJW-S530R(L)A」の受注を開始しました。



食器洗浄機 SJW-S530RA

フードサービス産業でも深刻な人手不足が叫ばれているなか、本機の導入により、作業効率を大幅に向上させ、省力・省人化を実現することが可能になります。

その他、製氷機やディスペンサ等も、「働き方改革」対応を目的に採用が広がっております。

### 優良な子育てサポート企業として「プラチナくるみん認定」を取得

当社は、2019年6月に厚生労働大臣より優良な子育てサポート企業として認められ、「プラチナくるみん認定」を受けることが出来ました。

ホシザキグループでは、当社、ネスター及び国内販売会社15社で「くるみん認定」を受けており、うち9社が「プラチナくるみん認定」を受けております。



▶「プラチナくるみん認定」制度とは、次世代育成支援対策推進法に基づいて、子育てサポート企業として「くるみん認定」を受けた企業のうち、さらに高い水準で継続的に取り組んでいる企業に対して、厚生労働大臣が認定する制度です。

## 海外

### 新製品2機種が全米レストラン協会主催 Kitchen Innovations®賞受賞

#### ▶ ホシザキアメリカ MODwaterディスペンサ

健康志向の高まるアメリカにて、オフィス等での需要をターゲットにしたディスペンサ。1台で炭酸水、アルカリ水、冷水、温水の4種類を注出可能。

#### ▶ ランサー Twin Pourディスペンサ

合計266種類ものドリンクを2人同時に抽出できるユニークなディスペンサ。省スペース化や顧客回転率向上を求めるコンビニがターゲット。



ランサー Twin Pour

### インド市場での冷蔵庫拡販

2014年10月よりインドのウェスタンにて製造、販売を始めた冷蔵庫は、主にチェーン店やホテル等の高級価格市場において、ラインナップを拡大しながら、順調に売上を伸ばしております。

また、本年より地方及び低価格帯市場向け冷蔵庫も新たに製造、販売を開始しており、インド市場での更なる売上拡大を目指してまいります。



ウェスタン 縦形冷蔵庫

### IR情報の充実

今までの開示資料に加え、決算短信の英語版及び決算説明会資料(日本語、英語)の簡易版を当社ホームページに掲載いたしました。

▶ ホシザキ株式会社ホームページ <https://www.hoshizaki.co.jp/>

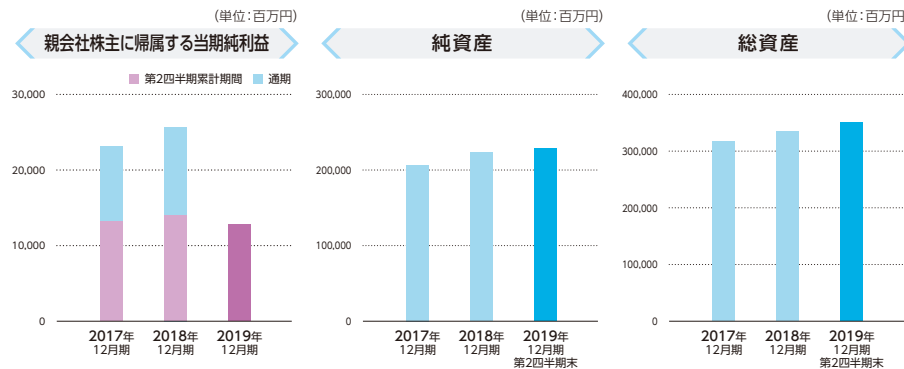
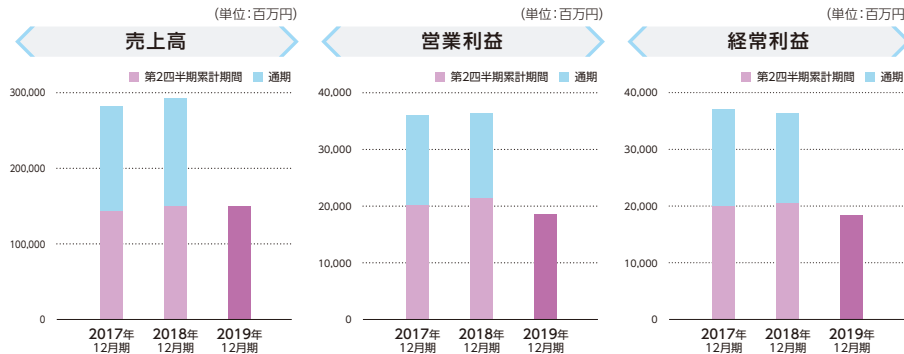
▶ 連結財務ハイライト

▶ 連結財務ハイライト

(単位：百万円)

	2017年12月期		2018年12月期		2019年12月期
	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間
売上高	143,731	282,215	149,985	292,774	149,631
営業利益	20,197	36,065	21,447	36,446	18,631
経常利益	20,070	37,086	20,591	36,372	18,451
親会社株主に帰属する当期純利益	13,180	23,144	13,964	25,717	12,800
純資産	195,033	206,900	213,245	223,510	228,551
総資産	315,277	316,637	334,816	334,948	350,180

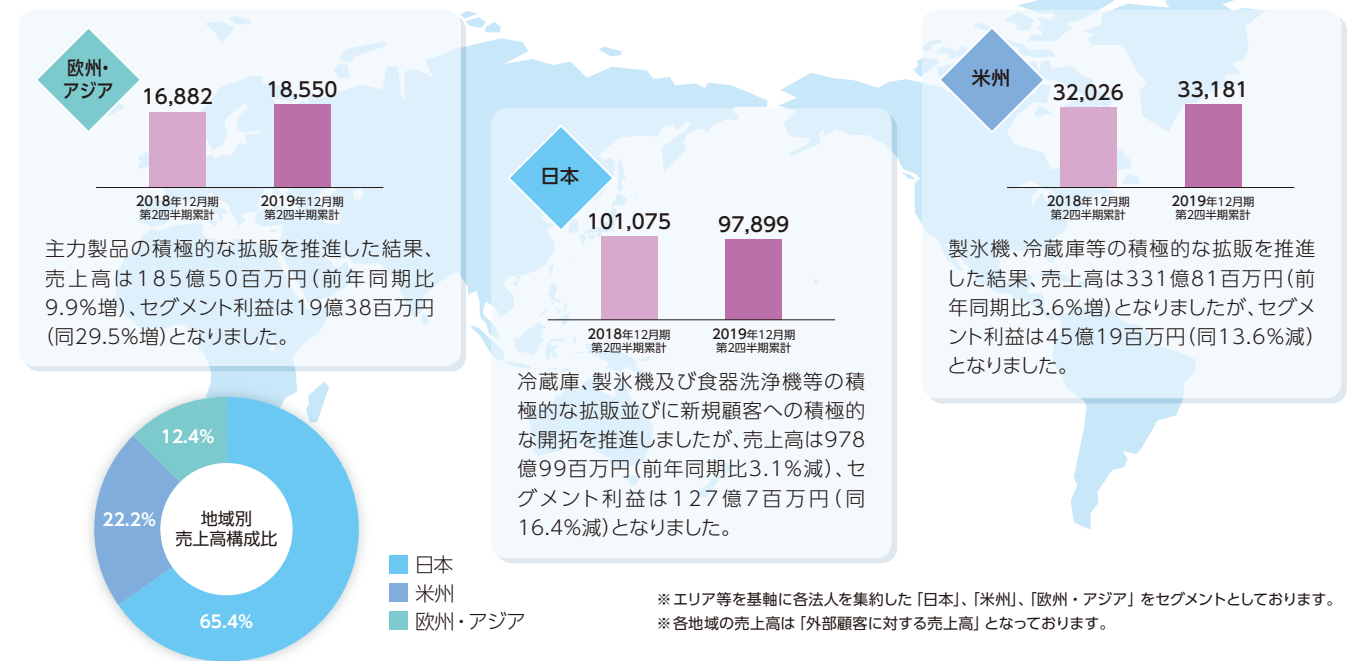
※当期より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」を適用しており、前期末については、遡及適用後の数値を記載しております。



▶ 連結セグメント情報

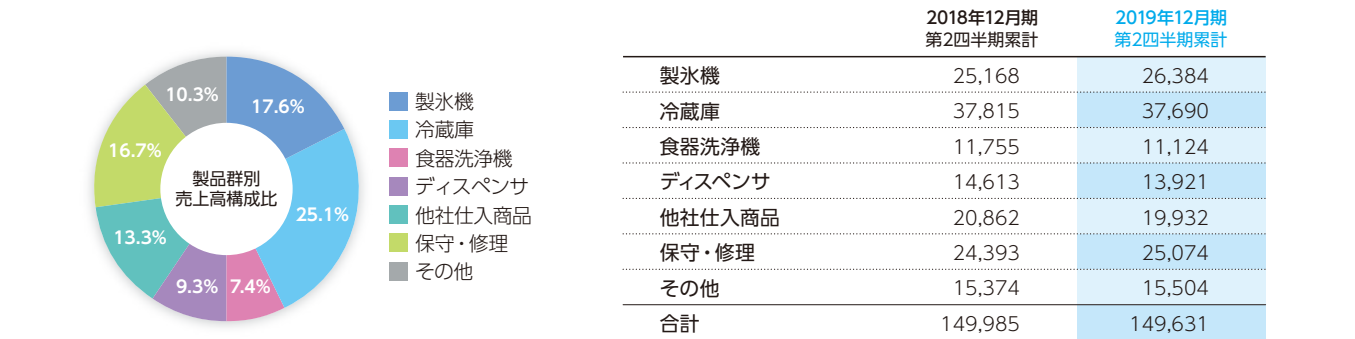
▶ 地域別売上高

(単位：百万円)



▶ 製品別売上高

(単位：百万円)



▶ 営業概況

事業環境

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済政策、金融政策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は一部に弱さが見られるものの緩やかに回復し、設備投資は増加いたしました。また、個人消費は持ち直しが続き、消費者物価は緩やかに上昇いたしました。海外においては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では一部に弱さが見られるものの景気は緩やかに回復いたしました。一方で、中国及びアジアの新興国では景気は緩やかに減速いたしました。また、為替は緩やかな円高傾向で推移しました。

業績・成果

このような環境のなか、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は1,496億31百万円(前年同期比0.2%減)、連結営業利益は前期に連結子会社で判明した不適切な取引行為に対する調査費用等を計上したことにより販売費及び一般管理費が増加し186億31百万円(同13.1%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は128億円(同8.3%減)となりました。

**1 流動資産**

受取手形及び売掛金並びに現金及び預金が増加したことから、流動資産は前期末比121億23百万円増加し、2,846億84百万円となりました。

**2 固定資産**

投資その他の資産及び有形固定資産が増加したことから、固定資産は前期末比31億78百万円増加し、654億96百万円となりました。

**3 資産合計**

流動資産、固定資産がともに増加したことから、資産合計は前期末比153億1百万円増加し、3,501億80百万円となりました。

**▶ 連結貸借対照表**

	当第2四半期末 2019年6月30日現在	前期末 2018年12月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>	<b>284,684</b>	<b>272,560</b>	<b>12,123</b>
現金及び預金	210,357	204,263	6,094
受取手形及び売掛金	39,861	31,183	8,677
商品及び製品	15,660	17,941	△2,280
仕掛品	3,544	3,820	△276
原材料及び貯蔵品	11,056	10,148	907
その他	4,362	5,354	△992
貸倒引当金	△157	△151	△6
<b>2 固定資産</b>	<b>65,496</b>	<b>62,318</b>	<b>3,178</b>
有形固定資産	44,770	43,962	807
無形固定資産	4,995	5,489	△494
投資その他の資産	15,730	12,866	2,864
<b>3 資産合計</b>	<b>350,180</b>	<b>334,879</b>	<b>15,301</b>

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2019年6月30日現在	前期末 2018年12月31日現在	増減額
<b>負債の部</b>			
<b>4 流動負債</b>	<b>97,778</b>	<b>88,243</b>	<b>9,535</b>
支払手形及び買掛金	18,564	17,664	900
未払法人税等	7,209	3,760	3,449
賞与引当金	4,285	3,434	851
その他引当金	1,629	1,641	△12
その他	66,089	61,743	4,345
<b>5 固定負債</b>	<b>23,850</b>	<b>23,124</b>	<b>726</b>
退職給付に係る負債	19,402	19,118	284
その他の引当金	1,382	1,454	△71
その他	3,065	2,551	513
<b>負債合計</b>	<b>121,629</b>	<b>111,368</b>	<b>10,261</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>233,691</b>	<b>226,659</b>	<b>7,032</b>
資本金	8,021	8,008	12
資本剰余金	14,543	14,530	12
利益剰余金	211,131	204,123	7,007
自己株式	△4	△4	△0
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△6,497</b>	<b>△4,420</b>	<b>△2,076</b>
その他有価証券評価差額金	98	139	△40
為替換算調整勘定	△4,211	△2,052	△2,158
退職給付に係る調整累計額	△2,384	△2,507	122
<b>非支配株主持分</b>	<b>1,356</b>	<b>1,272</b>	<b>84</b>
<b>純資産合計</b>	<b>228,551</b>	<b>223,510</b>	<b>5,040</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>350,180</b>	<b>334,879</b>	<b>15,301</b>

**4 流動負債**

未払法人税等並びに支払手形及び買掛金が増加したことから、流動負債は前期末比95億35百万円増加し、977億78百万円となりました。

**5 固定負債**

退職給付に係る負債が増加したことから、固定負債は前期末比7億26百万円増加し、238億50百万円となりました。

**6 負債合計**

流動負債、固定負債がともに増加したことから、負債合計は前期末比102億61百万円増加し、1,216億29百万円となりました。

**7 純資産**

為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金が増加したことから、純資産は前期末比50億40百万円増加し、2,285億51百万円となりました。

▶ 連結財務諸表

▶ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増減額
	2019年1月1日～ 2019年6月30日	2018年1月1日～ 2018年6月30日	
売上高	149,631	149,985	△353
売上原価	92,642	92,368	274
売上総利益	56,988	57,616	△628
販売費及び一般管理費	38,357	36,169	2,187
営業利益	18,631	21,447	△2,815
営業外収益	1,259	891	368
受取利息	998	627	370
その他	261	263	△2
営業外費用	1,439	1,747	△307
支払利息	41	34	6
為替差損	1,270	1,640	△370
その他	128	72	56
経常利益	18,451	20,591	△2,139
特別利益	66	8	58
投資有価証券売却益	55	-	55
その他	10	8	2
特別損失	12	261	△248
固定資産売却損	3	3	0
固定資産廃棄損	8	9	△0
関係会社出資金売却損	-	248	△248
税金等調整前四半期純利益	18,505	20,338	△1,832
法人税、住民税及び事業税	8,882	9,741	△859
法人税等調整額	△3,326	△3,469	142
法人税等合計	5,555	6,272	△717
四半期純利益	12,950	14,065	△1,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	149	101	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,800	13,964	△1,163

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増減額
	2019年1月1日～ 2019年6月30日	2018年1月1日～ 2018年6月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,448	17,687	△1,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,466	33,554	△13,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,744	△4,959	△784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,949	△596	△1,353
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,220	45,685	△16,464
現金及び現金同等物の期首残高	89,256	49,906	39,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,477	95,592	22,885

8 売上高

フードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組み、海外では米国を中心に主力製品の拡販に努めましたが、売上高は前年同期比0.2%減の1,496億31百万円となりました。

9 営業利益

前期に連結子会社で判明した不適切な取引行為に対する調査費用等を計上したことにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は、前年同期比13.1%減の186億31百万円となりました。

10 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比8.3%減の128億円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは164億48百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(185億5百万円)などによるものです。

12 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは204億66百万円の収入となりました。これは主に、定期預金の純増による収入(216億3百万円)などによるものです。

13 現金及び現金同等物の四半期末残高

現金及び現金同等物の当四半期末残高は前年同期末に比べ228億85百万円増加し1,184億77百万円となりました。

▶ 株式関連情報 (2019年6月30日現在)

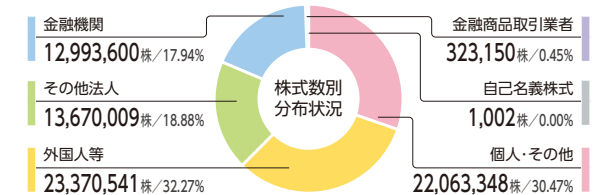
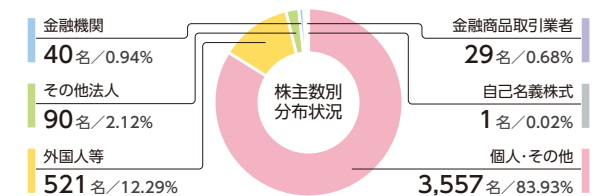
▶ 株式の状況

発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,421,650 株
株主数	4,238 名

▶ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.56
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,794	3.85
ホシザキグループ社員持株会	2,661	3.67
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	2,402	3.31
真木 薫	1,757	2.42
稲森 美香	1,690	2.33
真木 豊	1,670	2.30
坂本 精一郎	1,559	2.15
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,428	1.97

▶ 株式分布状況



▶ 国内外ネットワーク (2019年6月30日現在)

ホシザキ株式会社	
▶ 本社/愛知県 豊明市	▶ 島根本社工場/島根県 雲南市
国内グループ会社	
▶ ホシザキ北海道株式会社/北海道 札幌市	▶ ホシザキ京阪株式会社/大阪府 大阪市
▶ ホシザキ東北株式会社/宮城県 仙台市	▶ ホシザキ阪神株式会社/大阪府 大阪市
▶ ホシザキ北関東株式会社/埼玉県 さいたま市	▶ ホシザキ中国株式会社/広島県 広島市
▶ ホシザキ関東株式会社/東京都 文京区	▶ ホシザキ四国株式会社/香川県 高松市
▶ ホシザキ東京株式会社/東京都 品川区	▶ ホシザキ北九株式会社/福岡県 福岡市
▶ ホシザキ湘南株式会社/神奈川県 横浜市	▶ ホシザキ南九株式会社/鹿児島県 鹿児島市
▶ ホシザキ北信越株式会社/石川県 金沢市	▶ ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県 那覇市
▶ ホシザキ東海株式会社/愛知県 名古屋	▶ 株式会社ネスター/愛知県 大府市
	▶ サンセイ電機株式会社/島根県 雲南市

海外グループ会社	
▶ HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国	
▶ HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国	
▶ HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
▶ HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
▶ HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
▶ HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
▶ HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国	
▶ Jackson WWS, Inc./米国	
▶ LANCER CORPORATION/米国	
▶ LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ	
▶ INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ	
▶ SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ	
▶ HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州	
▶ HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド	
▶ Lancer Europe/ベルギー	
▶ Aços Macom Indústria e Comércio Ltda./ブラジル	

米州	
▶ Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ	
▶ HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国	
▶ Hoshizaki Europe B.V./オランダ	
▶ GRAM COMMERCIAL A/S/デンマーク	
▶ Western Refrigeration Private Limited/インド	
▶ Western Coolers and Freezers Private Limited/インド	
▶ HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED/タイ	
▶ HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD./マレーシア	
▶ HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール	
▶ HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION/ベトナム	
▶ PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア	
▶ HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION/フィリピン	
▶ 星崎香港有限公司/香港	
▶ 星崎(中国)投資有限公司/中国	
▶ 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国	
▶ 星崎電機(蘇州)有限公司/中国	
▶ 台湾星崎股份有限公司/台湾	
▶ Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国	